

令和8年度福島12市町村への移住を伴う起業促進に関する
事業業務委託公募型プロポーザルの質問書に対する回答

2026年3月2日

	質問事項	質問内容	回答
1	申請希望者の発掘 (ウ)	<p>スクールまたはイベントのメインターゲットは顕在層（12市町村での起業を既に目指している者）を考えておりますが、潜在層向けのイベントもご提案した方が良いか？顕在層向け、潜在層向けそれぞれの開催割合等あればご教示下さい。（顕在層は4回、潜在層は1回等）</p> <p>何かスクールやイベントに仕様書に描き切れていないご要望があればお伺いしたいです。</p>	<p>スクール又はイベント実施のメインターゲットは「顕在層」を計画しておりますが、詳細につきましては、採択後に調整して行く考えです。</p> <p>審査会では、本地域において起業者を増やすべく企画内容を提示願います。</p>
2	申請予定者の申請サポート 業務内容（ク）	<p>起業後の経営課題等の相談・対応における経営相談に関する窓口への案内とあるが、具体的にどこを指しているのか？</p> <p>商工会をイメージしているが別の支援先をイメージしているのか？</p> <p>また、対象者は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R8年度の12市町村起業支援金に申請して採択された方の認識で良いか？ （過去採択者は除外で良いか） ・商工会の経営指導員などへの案内を促すような取組で良いか？（商工会に採択者の紹介等を行う活動であっているか？） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人福島相双復興推進機構（相双機構）や地域の商工団体（商工会や商工会議所）を想定しております。場合によっては他機関へのご案内をいただくこともあります。 ・対象者についてはR8年度採択者の他、過年度の採択者も含まれます。 ・ご認識のとおり、必要に応じて商工団体等の相談窓口へのご案内をお願いします。